

2010

環境報告書

EXEDY Corporation Environmental Report



EXEDY
株式会社エクセディ

CONTENTS

会社概要……………1
 環境理念・方針……………2
 環境マネジメント……………3～4
 生産・製品における環境保全活動……………5～6
 生産・製品におけるCO₂削減への取組み実施例……………7～8
 社会との共生……………9～10

■対象期間

2009年度(2009年4月1日～2010年3月31日)を対象としていますが、この期間外であっても、必要と判断した事象も含めて報告しています。

■対象組織

国内事業所の本社・上野事業所・川越工場を対象範囲としています。また、関係会社の活動状況についても一部紹介しています。

■編集方針

社会との共生では、社会貢献に加えて労働安全衛生等の取組み事例について紹介しています。本報告書の作成に当たっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。



エコに配慮した保育園

表紙の写真は、本社敷地内に設置された保育園です。屋根には太陽光発電(10kW)を設置し、働きやすい職場づくりによる従業員満足度の向上と子育てへの支援、また少子化に対する社会貢献の一翼を担っています。

商号 株式会社エクセディ
 英文社名 EXEDY Corporation
 設立 1950年(昭和25年)7月1日
 資本金 8,284百万円
 取締役社長 清水春生
 グループ社員数 約10,000名
 営業状況 下表のとおり(2010年3月期決算)
 売上高推移



国内事業所 本社(大阪府寝屋川市)
 上野事業所(三重県伊賀市)
 川越工場(埼玉県川越市)

連結対象会社

国内 北海道・広島等 計 9社
 海外 欧米・アジア等 計 24社
 総数 33社(持分法適用会社含む)

主要製品

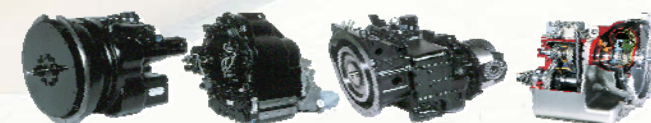
AT事業:自動変速装置部品



MT事業:手動変速装置部品



TS事業:建設・産業車両、農機・商用車用装置部品



環境理念

エクセディは、自然と社会との共生を実現するために、企業理念=『喜びの創造』を追求し、企業活動の全ての面において、地球にやさしい環境づくりに努めます。

環境方針

エクセディ環境理念に基づき、生産・製品・サービスの分野において、環境マネジメントシステムを実行し、環境問題の未然防止と継続的改善活動を推進します。

- 1) 環境に関する法令・条例・協定および同意したその他の要求事項を遵守します。
- 2) 産業廃棄物の削減と資源の有効利用を推進します。
- 3) 環境に配慮した製品開発とものづくりにおいて、地球温暖化防止と環境負荷物質の廃止・削減を推進します。
- 4) 地域の環境改善への参加・支援に積極的に取り組みます。
- 5) この環境方針は、すべての従業員に周知させるとともに、社外に開示します。

2007年4月1日

取締役社長 清水春生

環境マネジメント

環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会（EGC:EXEDY Global Clean）を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



JQA-EM0901

2009年度実績と2010年度目標

項目	2009年度		2010年度
	計画	実績	目標
省エネ活動 ・1990年度比CO ₂ 排出量7%減 ・原単位※120%減 (2008年～2012年度5年間平均値で評価)	原単位※1 :42.9トン-CO ₂ /億円	原単位:前年度比1.4%減 (43.4⇒42.8トン-CO ₂ /億円)	原単位 :42.5トン-CO ₂ /億円
	排出量:45.5千トン-CO ₂	排出量:前年度比6.0%減 (39.9⇒37.5千トン-CO ₂)	排出量:41.1千トン-CO ₂
3R※2の推進 「新ゼロエミッション」達成	前年度比原単位5%減 (0.62トン/億円)	原単位:前年度比11%減 (0.64⇒0.57トン/億円)	原単位:前年度比3%減 産廃排出量:0.55トン/億円
	リサイクル率:95%	リサイクル率:83%	リサイクル率:95%
環境負荷物質の削減・廃止及び管理	PRTR法※3に基づく管理	行政及び部工会※4へ報告	PRTR法に基づく管理
車両の燃費向上に貢献する製品開発	高効率化T/C※5の量産化 新製品の实用化 性能・耐久性評価の完了	'08/10月本格的量産納入開始 試作評価結果、構造変更、機種追加して開発継続	— 2次試作の評価と量産移行・受注の獲得
環境負荷物質の削減 (有害物質の全廃)	建設産業車両用 主要補修部品 の6価クロム・鉛廃止	鉛含有ゴムシール部品廃止 完了、6価クロム順次廃止継続中	補修部品の6価クロム・鉛廃止 推進の継続

※1 原単位:CO₂排出量/売上高 ※2 3R:リデュース・リユース・リサイクル ※3 PRTR法:化学物質の排出・移動量届出制度 ※4 部工会:日本自動車部品工業会 ※5 T/C:トルクコンバータ

環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

2009年度環境保全コスト

(単位:百万円)

事業エリア内	コスト項目	投資額	費用額	主な取り組み内容
	公害防止	17	42	土間改修工事、油水分離槽設置
	地球環境保全	2	5	工場屋根明かり取り設置、埋設配管の地上化
	資源循環	18	73	廃棄物処理・リサイクル処理
	管理活動	0	24	環境月間イベント、ISO更新審査
	研究活動	0	75	低燃費化製品・再資源化材料の開発、軽量化
	社会活動	0	22	事業所内の緑化、地域との交流
	環境損害対応	0	2	土壌浄化
	合計	41	238	
	総計		279	

環境保全に伴う経済効果と物量効果

<経済効果>

(単位:百万円)

効果項目	2007年度	2008年度	2009年度
CO ₂ 削減	22	51	17
廃棄物処理費用の低減	37	0	41
有価物の売却	951	865	582
合計	1,010	916	640

<物量効果>

効果項目	2007年度	2008年度	2009年度
産業廃棄物排出量※6	657トン	590トン	500トン
CO ₂ 排出量	46.0千トン-CO ₂	39.9千トン-CO ₂	37.5千トン-CO ₂

※6 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

環境監査 (ISO14001)

部門自主監査(部門責任者による自己診断)、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

ISO14001更新審査

2009年4月21日～24日の4日間にわたり、ISO14001更新審査が行われました。今回の審査では幅広いCO₂削減活動や環境を意識した保育園の設立(2008年10月)などが高く評価されました。

今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

<<審査及び監査結果>>

年度	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会	
2009	更新審査	0件	1件	25件
	内部環境監査	5件	6件	41件

生産・製品における環境保全活動

～最少エネルギーと最少材料で～

エネルギー

- 電 力: 116,093 千kWh
- 灯 油: 189 kℓ
- ガソリン: 151 kℓ
- 都市ガス: 99 千m³
- L P G: 546 トン

材 料

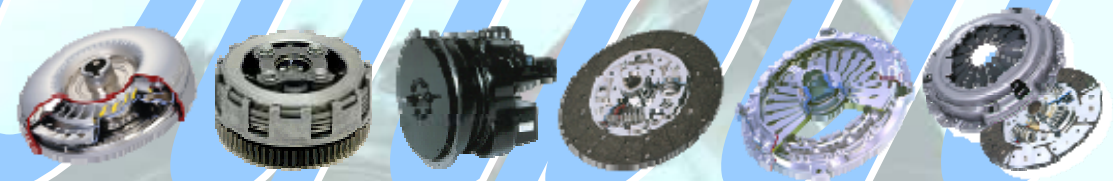
- 鋼 材: 102,155 トン
- 鑄 物: 6,662 トン
- 鍛 造: 11,646 トン
- 摩 擦 材: 1,084 万枚

水資源

- 上 水: 135 千m³
- 工業用水: 115 千m³

製 品

年間出荷台数:
1,283 万台



<プレスライン>



スクラップ(再資源)
社内リサイクル:
13,477 トン

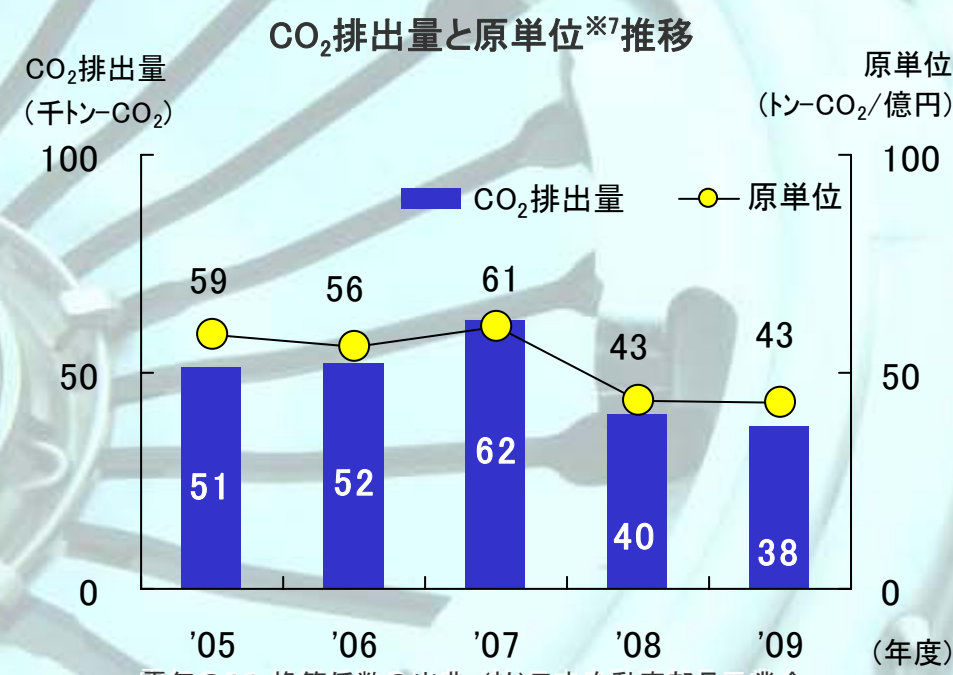
<鑄造ライン>



<機械加工ライン>



<組立ライン>

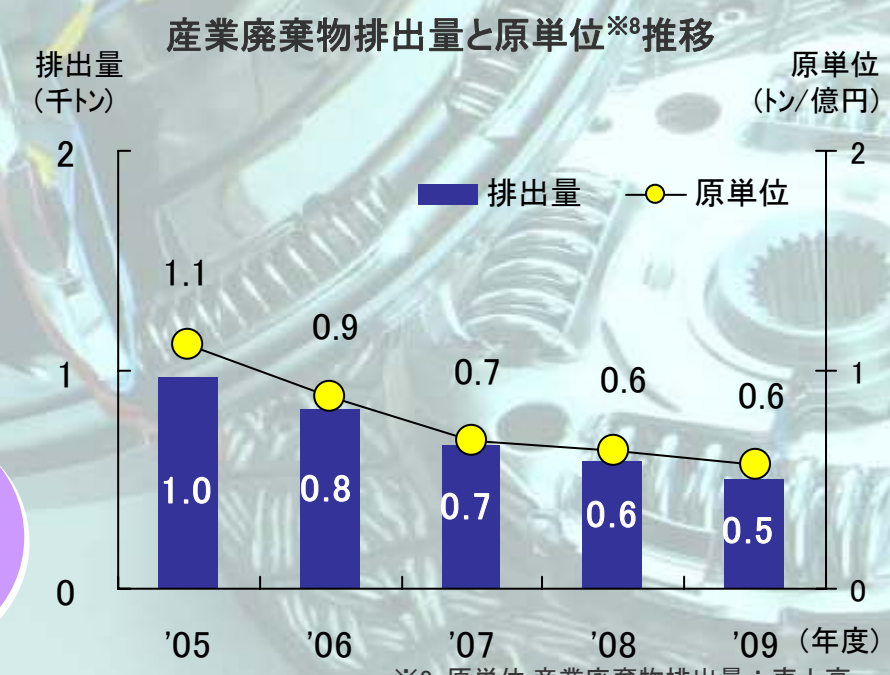


CO₂排出
37,525 トン

外部委託
再資源化物
33,615 トン

外部委託
埋め立て
121 トン

外部委託
中間処理
379 トン



生産・製品におけるCO₂削減への取組み 実施例（2009年度）

当社の本業であるものづくりの中で、素重、取りしろ削減、軽量化を進めるとともに、「省エネ7つの着眼点※9」に基づき、省エネ・CO₂削減に向けた施策を進めています。

※9 省エネ7つの着眼点：「きめる」、「とめる（やめる）」、「なおす（もどす）」、「へらす（さげる）」、「わける」、「かえる」、「ひろう」



■ きめる

🌱 運転管理による電気エネルギー削減

運転基準を決め、昼夜引き継ぎ間の運転を停止する事により、2時間/日電気エネルギーを削減しました。

(CO₂削減量：30.1 トン-CO₂/年)

(M&T 製造本部/AT 製造本部)

設備付帯油圧ユニット

■ とめる

🌱 変成炉の待機電力削減

カレンダータイマーと自動立ち上がり回路を改造することにより、待機エネルギー(CO₂削減量：0.6 トン/年)を削減しました。(AT 製造本部)

変成炉タイマーと回路を改造



■ なおす

🌱 切れかけ蛍光灯の配置見直し

蛍光灯の切れかけ箇所を見直し・撤去することにより、微量消費電力を(CO₂削減量：0.1 トン/年)削減出来ました。

(M&T 製造本部)

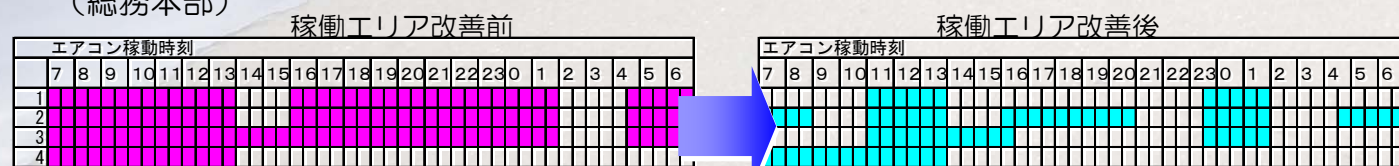
切れている(切れかかっている)蛍光灯も電力を消費しています

■ わける

🌱 空調稼働エリアわけて稼働時間を削減

社員食堂における空調の稼働エリアをわけることにより、稼働時間を短縮させることができました。これにより使用電力エネルギー(CO₂削減量：13.8 トン/年)を削減しました。

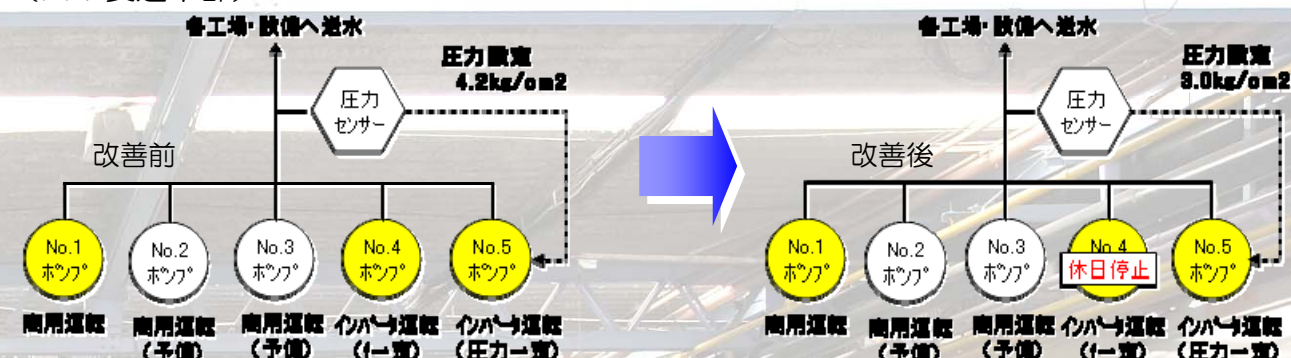
(総務本部)



■ さげる

🌱 工業用水送り出しの低圧化によるエネルギー削減

休日の工業用水送出し圧力を下げ、ポンプ動力を(CO₂削減量：5.0 トン-CO₂/年)削減しました。(AT 製造本部)



■ かえる

🌱 ロー付炉メッシュベルト軽量化による放熱ロス低減

ベルトを軽量化(線径、網目等の変更)し、再加熱時の放熱ロスを防ぐことにより、加熱時のエネルギー(CO₂削減量：13.5 トン-CO₂/年/台)を削減しました。

(AT 製造本部)

従来のメッシュベルト



20%軽量化されたベルト



■ ひろう

🌱 天井明かり取り設置

屋根に明かり取りを設置することにより、昼間照明を消し、使用電力を削減することができました。

(CO₂削減量：<例> 1棟 0.4 トン-CO₂/年)

(エクセディ内建屋)



生産技術工場の天井明かり取り

社会との共生

～歩調をあわせて環境活動を～

深刻化する地球環境において、生産活動に伴う環境負荷も高まっており、従業員一人ひとりの環境問題に対する認識を一層高める必要があります。グループとして歩調を合せた取り組みを推進するために、国内外の連結会社は企業理念を共有し、各社の状況に即した環境活動を展開しています。

■ 労働安全衛生～明るく快適職場づくり～

🌱「安全道場」で幅広い安全人間づくり

エクセディでは安全人間を育成するために、日本国内はもとより海外グループ会社からも研修生を受け入れています。
また、構内工事業者や近隣会社の安全教育の一環として、安全道場の解放を行い、社会貢献の一翼を担っています。

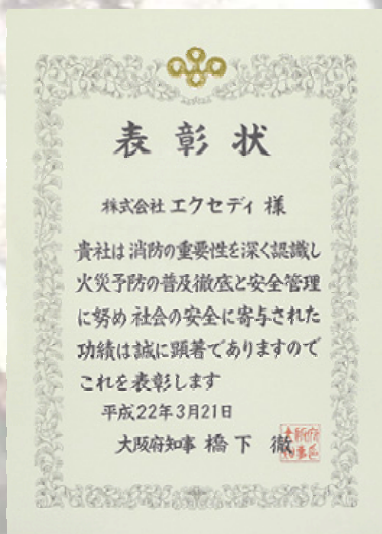


関連会社安全担当者への教育風景

🌱大阪府知事より「消防功労表彰」

2010年3月21日に開催された「平成21年度大阪府消防表彰式」において、大阪府知事表彰の一般消防功労表彰に当社が表彰されました。
この表彰に恥じぬよう、従業員一同、さらなる防火活動に努めてまいります。

橋下大阪府知事より授与された表彰状



■ 関連会社情報

🌱太陽光発電関連及び省エネシステム事業会社設立

当社は2010年1月(株)エクセディ電設(大阪府)を設立しました。
これにより従来以上に環境に幅広く貢献できる企業グループを目指してまいります。



開所式



🌱児童養護施設への支援活動

エクセディフリクションマテリアル(タイ)では、地域の児童養護施設において、子供たちとのふれあいと、寄付活動を実施しています。

エクセディフリクションマテリアル社員と子供たち

🌱周辺地域のピカピカ活動

(株)プロネット(京都府)では周辺地域の清掃活動を定期的実施し、今後も地域への貢献と環境美化を推進します。



河川やサイクリングコースを熱心に清掃

🌱Jatco Supplier Award 開発賞受賞

ジヤトコ株式会社様の2010年度取引先方針説明会において、2010年3月10日当社及び(株)ダイナックス(北海道)が「2009年度Jatco Supplier Award 開発賞」を受賞いたしました。
今後もエクセディグループは、より一層の開発・品質・サービスの向上に取り組んでまいります。

記念の楯



🌱ダイハツ品質特別賞10年連続受賞

ダイハツ工業株式会社様の仕入先総会におきまして、2010年4月8日エクセディが2009年度「品質優秀賞」および「特別賞連続品質優良賞」を受賞いたしました。
これにより当社は10年連続受賞という快挙を成し遂げました。今後も全社一丸となつて、より一層の品質向上に努めてまいります。



歴代受賞の楯



EXEDY
Focus on Basics

株式会社エクセディ

〒572-8570 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号

お問い合わせ先： 総務本部 CSR・環境管理チーム

編集責任者 西垣 敬三

作成者 松本 かよ 濱田 徹 水上 博晴 中村 正憲

TEL.072-824-1009 FAX.072-822-4145

発行： 2010年4月

本誌はエクセディホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.exedy.com>

Printed in Japan



このカタログの印刷は環境にやさしい
植物性大豆インキを使用しています。



古紙配合率100%再生紙を使用